

橈骨遠位端骨折における掌側月状骨窩骨片の発生率に関する研究

1. 研究の対象

2018年1月～2021年11月に当院で橈骨遠位端骨折の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

※研究目的・方法を記載ください。「研究期間」は、こちらに記載してください。

橈骨遠位端骨折における掌側月状骨窩骨片の発生は10%前後とされていますが、同骨片が存在する場合には術後転位のリスクが高まることが研究で報告されています。本研究の目的は同骨片がどのような状況で発生し、手術でどのように内固定すれば最適かを検討するためのものです。2022年9月30日までの予定で行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では患者さんのカルテの診療情報を利用させていただきます。利用させていただく情報は次のようなものです。なお、個人情報が特定できない形で情報収集し符号化して情報解析致します。

識別情報（生年月日、性別、初診年月日）、既往歴、受傷形態、レントゲン、CT画像、術中写真、術後経過や臨床成績など

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

①当院

②医療法人健康会 新京都南病院

〒600-8861 京都市下京区七条御所ノ内北町 94

TEL:075-322-3344

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23

りんくう総合医療センター 救命診療科 光澤定己

TEL:072-469-3111

研究代表者：同上